

おむすび

たかしま

27号

2015年4月発行



特集 地域を元気にする 子どもの力をご紹介します!

平成26年度 協働提案事業
社会的ひきこもり支援活動推進事業

社会的ひきこもり家族の会「みにとまと」

連絡先 高島市マキノ町新保1126
TEL: 090-1146-1618 FAX: 0740-20-1528

INDEX

- 特集 地域を元気にする子どもの力をご紹介します!
- たかしまの元気! 企業～有限会社 宝牧場～お客様の笑顔と満足に支えられて、地域の元気を支えたい
- 平成26年度たかしま・未来・円卓会議の報告
- いろいろやっています! in たかしま市内でがんばっているNPOや市民活動団体を紹介
- インフォメーション

「ひきこもり」に対する市民の理解を広げ、地域社会で共に生きるまちづくりを目的に、平成26年度協働提案事業として社会的ひきこもり家族の会「みにとまと」、高島市社会福祉協議会、高島市少年センター、青少年課、障がい福祉課が協働で事業を行いました。平成26年7月に開催した「ひきこもり啓発講座 10年後の彼を見つめた就労支援～地域に根ざした“ひきこもり支援”を考える～」では約180名が参加。地域の理解と働く場の大切さが語られました。平成27年2月の「ひきこもりサポーター養成講座～ともに生きともに育つ ひきこもり支援」では約40名が参加。当事者に寄り添うサポーターに必要な視点や地域での「居場所」の大切さを学びました。「ひきこもり」はその人の人生にとって必要な一時期だと、家族も社会もその状態を肯定的に捉え、受け入れることが大切です。共に働き、暮らす地域づくりのために、今後も取り組みが続きます。

INFORMATION

ヴォーリズ スプリングJAZZコンサート

よみがえった、旧今津郵便局でのJAZZカルテットの演奏会です。ヴォーリズの設計した、古いけれどもおもむきのある建物内で、アットホームなジャズを楽しみませんか。

日時	2015年4月26日(日) 15:00～17:00
場所	今津ヴォーリズ通り 旧今津郵便局
出演	Kバンド (Big Bellメンバー)
入場料	無料
定員	50名程度



主催・お問い合わせ先
VIPO (ヴォーリズ今津郵便局の会)
TEL 090-8115-5678 (志連)

市民活動団体、ボランティアグループのみなさん ポスター、横断幕などの大判プリントをご利用ください!

市民活動団体やボランティアグループの広報や活動を支援する目的で、カラープリントや大判プリントをご利用いただいています。

- 大判プリント
 - A1カラープリント

普通紙	270円
厚口コート紙	330円
 - 横断幕・垂れ幕 (50cmあたり)

普通紙 (1色)	270円
普通紙 (カラー)	300円
厚口コート紙 (1色)	330円
厚口コート紙 (カラー)	350円
 - デザイン作成料
 - 1枚あたり 100円
(デザイン作成の場合は3日程度お時間がかかります)
 - プリント・コピー・ファックス

モノクロ	1枚	10円
カラー	1枚	25円
ファックス送信	1件 (容量による)	10円
 - 無料機材
 - 裁断機 (厚さ約15mmの紙をバサッと切れます)
 - 穴あけパンチ (厚さ約15mmの紙も簡単に穴が開きます)
- たかしま市民協働交流センター

編集後記

新年度を迎え、新しい職場や新しい学校、新しいクラスでの生活がはじまる方も多いのではないかと思います。「さよならだけが人生だ」という言葉がありますが、人生は「はじめまして」の連続でもあります。今日も明日も初心に戻り、人生のドキドキ・ワクワクを楽しみたいと思います。(H)

今津東コミュニティセンター 前期展示会のお知らせ

今津東コミュニティセンターでは、1階ホールをサークルや教室の作品展示にご利用いただけるよう、開放しています。

5月から8月に開催の展示会

- | | |
|-----------|--|
| 5月 8日～16日 | 楽しみの水墨画展 (今津墨絵クラブ) |
| 5月20日～31日 | ハーモニー作品展 (社会福祉法人 虹の会) |
| 6月 1日～12日 | 「森林・緑といのち」写真コンクール作品展 (公益財団法人 滋賀県緑化推進会) |
| 6月15日～21日 | 水墨画展 (湖西水墨画会) |
| 7月 1日～14日 | 彩琶 水彩画展 (水彩画サークル彩琶) |
| 7月19日～27日 | 今津押し花クラブ展 (今津押し花クラブ) |
| 8月 6日～10日 | 原爆パネル展 (原水協今津支部) |

お問い合わせは今津東コミュニティセンターまで
TEL 0740-22-3222
FAX 0740-20-5757

市民活動・ボランティアに関する相談の お知らせ

市民活動やボランティア活動の運営サポートをしています。活動を始めるとき、運営を続ける中で、さまざまな悩みが出てくると思います。

例えば、

- ・ NPO法人の設立手続きはどうすればいいの?
- ・ グループを作りたいのですが、会則はどう作ればいいの?
- ・ NPO法人と一般社団法人などの違いは?
- ・ 事業報告書や決算のまとめ方を知りたい。
- ・ 助成金申請書の書き方を教えてほしい。
- ・ ボランティアを増やしたいのだけど...
- ・ 寄付を集めたいのだけど...

などなど、お気軽にご相談ください。

ご相談には、事前にお電話などで日程をお伝えください。ご連絡お待ちしております。

たかしま市民協働交流センター

◆ このページに関するご応募・お問合せ

たかしま市民協働交流センターまで、お気軽にお問合せください。

発行/たかしま市民協働交流センター

〒520-1622 滋賀県高島市今津町中沼 1-4-1 (今津東コミュニティセンター内)

TEL/ 0740-20-5758 FAX/ 0740-20-5757

MAIL/ webmaster@tkkc.takashima-shiga.jp

http://tkkc.takashima-shiga.jp/ facebook

http://tkkc.shiga-saku.net/ twitter

業務時間/ 祝日を除く月～金曜日 9時～17時

特集

地域を元気にする子どもたちの力を紹介！

情報誌『おむすび・たかしま』では、地域課題や地域の魅力づくりに活躍する市民の活動を掲載しています。24号では「地域を元気にする男性の力」を、25号では「女性の力」を、26号では「若者の力」をご紹介してきました。今回は、高島市で地域を元気にする子どもたちの活動取材しました。故郷の環境や地域の大人から学びながら、子どもたちが活動し、地域の元気につながっています。

自然から学び、仲間や地域、少女たちの自己開発

○ガールスカウト湖西地区協議会

お問い合わせ先

ガールスカウト滋賀県

第13団（今津）清水真理子

TEL 0740(22)1702

第18団（安曇川）青谷一枝

TEL 090(2047)2793

第30団（新旭）前田典子

TEL 090(5676)0256

第45団（マキノ）比叡合輝海

TEL 0740(28)0434

高島市内にガールスカウトは、マキノ、今津、新旭、安曇川にあり、100名以上の少女たちと指導者や保護者が活動しています。自然や人からの学びを大切にしており、市内のウォーキングでは、地元の方からお話を聞いたり、歩きながら集めた材料でクラフトをしたり、地域を知り、地域に学んでいます。夏のキャンプ、公園や公共施設の清掃作業、町に花を植える美化活動、湖畔の



ヨシ刈、老人施設の訪問、ユニセフ募金活動、日本文化の体験など、年間を通じて活動をしています。活動は「パトロールシステム」という数人のグループを中心に行われます。

このグループは、一人ひとりが安心して発言できる場をつくること、自分の意見を伝えること、みんなの意見を聞いてまとめることなど、優しさや協調性とリーダーシップを育てる仕組みになっています。就学前の幼児から高校生が、仲間とともに活動し、「社会に役立つ女性の育成」をめざしています。平成26年度の協議会代表 青谷一枝さんはガールスカウトのやりがいについて、「親子3代ガールスカウトの方もおられます。生涯ガールスカウトです。私たち大人も楽しみなが

ら、少女たちの成長にかかわれるのが嬉しい」と話してくださいました。ガールスカウトに興味を持たれた方はご連絡ください。新入団員は随時募集しています。

リーダーを育てる「よえもん道場」

○高島市青少年育成市民会議

お問い合わせ先

高島市教育委員会事務局青少年課

高島市青少年育成市民会議

TEL 0740(32)4458



よえもん道場は、市内の小学4年生から6年生の約50名が参加して、自然や歴史を地域の方から学び、地域への愛着を育てる活動を中心に、リーダー育成を目的に行われています。

子どもたちが活躍する防災マップ

○マキノ町子ども会

お問い合わせ先

高島市マキノ町（高屋博之）

TEL 090(3614)1190

マキノ町は、周りを田畑と森林に囲まれた緑豊かな小さな集落です。近くにはメタセコイア並木があり四季折々に美しい景観を楽しむことができます。近年、少子高齢化が進んでおり、今まで普通にしてきた集落内行事がだんだんとできなくなってきています。

夏休みのラジオ体操後の時間を利用して、子どもたちと大人と一緒に、消火・煙の体験をはじめ、楽しみながら集落にある消火栓の位置や交通事故が起こりやすい危険な場所などを見て回り、身の回りの安全・安心を考えながら「防災マップ」としてまとめることにしました。今まで見えていなかったものが、子ども目線です。たくさん発見できたのではないかと思います。



また、高齢者に優しく、小中学生でも安全に使える

子どもたちの少ない時代だからこそ、子どもたちを地域で育て、子どもたちの活動が地域の魅力となり、地域を元気にしてくれることが大切だと感じるお話でした。ほかに地域を元気にする子どもたちの活動があると思います。ぜひ、情報をお寄せください。

年間スケジュールは、6月頃に新しい仲間と友達作りのレクリエーションをします。7月には8月の県外キャンプに向けて下調べと準備、8月は山あるいは海で3泊4日の自然体験キャンプをします。秋には市内の山登りや史跡を訪ね、2月にはスノーシュー体験をし、3月はお別れ会です。

※「よえもん」とは、高島市安曇川町に生まれた江戸時代の儒学者中江藤樹の通称「与右衛門」をさします。

平成26年度 たかしま・未来・円卓会議 報告

地域資源を活かして地域を支える 「仕事づくり」を応援しよう！

【たかしま・未来・円卓会議】は、みなさんのお住まいの地域で、「何とかしたい！」困りごとや課題を、高校生や大学生、市内外の市民活動団体や事業者さんなど、地域を支える色々な「ひと」が集まり、いっしょに考え、それぞれが、それぞれの立場で出来ることやアイデアを出し合い、解決策を見出していく場です。平成25年度の円卓会議で出てきた「高島の資源」を活かした「小さな仕事づくり」を目指して、【①自然・②観光・③高齢者などの生きがい人材活用】という3つのテーマを、参加者とともに設定して話し合ってきました。会議を重ねるごとに、本気で仕事をはじめたい人や、すでに薪や鹿肉など地域資源を活用したビジネスをしている人、あるいは地域で使える資源、埋もれている資源の情報などがつながって「コミュニティを支える小さな仕事の芽」がみえてきました。



◆平成26年度 たかしま・未来・円卓会議のつながりで新たに動き出そうとしている事業の紹介

●「高島薪林資源」活用プロジェクト（仮）

円卓会議でつながった多様な人の知恵や情報、ネットワークを活かし、薪の販路拡大等と合わせ、持続可能な森林資源の管理システム構築を目指します！

●「くつきの森」に親子を呼び込もう！

円卓会議の出会いから、NPO法人麻生里山センターが管理する「くつきの森」の事業がさらに広がりを見せてくれることを期待しています！応援してくれる人大募集！

●「シカ肉」を地域の資源に！

市内外の飲食店などで、少しずつ鹿肉活用が広まっているが、まだまだ伸び代があると、日々、奮闘中！鹿肉のブランド化と地域に根差した食文化を目指しています！

●「自転車」のまち、高島！

地元の人と交流する自転車ツアーなどを通じて、「都会の人に高島の良さを知ってもらいたい」と試行錯誤を重ねながら事業を運営中。世界中の人が心を癒す場所＝高島にしたい！

●「高島の自然資源」を、健康的に活用！

高島の食、歴史、森林など地域資源を「環境」「観光」「健康」の3つでつなぐ、ヘルスツーリズムを通じて、健康寿命を延ばす、社会人のストレス軽減などを目的に、高島の自然資源を健康的に活用した新たな観光産業を目指しています！



平成27年度 たかしま・未来・円卓会議

あなたのまち・むらの課題を、まち・むらの力で解決します！

平成27年度 たかしま・未来・円卓会議は、あなたのまち、むらへ出かけます！多様な人の知恵やワザ、資源を持ち寄り、理解と対話を重ねながら協働を進める「地域円卓会議」の手法を用いて、あなたのまち、むらの困りごとや地域課題を解決していきましょう！

「うちの地域を何とかしたい！」という意欲のある方からのご相談を、心よりお待ちしております！

■ お問合せ、ご相談は、たかしま市民協働交流センターまで。

地域を支える協働のパートナー、高島の地域を盛り上げる企業をご紹介します。

たかしまの元気！企業

お客様の笑顔と満足に支えられて 地域の元気を支えたい

－有限会社 宝牧場－ 取締役会長 田原 善裕さん



大規模多角畜産経営で肉牛、乳牛、肉豚の生産と加工、販売、レストラン経営もされる宝牧場。搾乳体験など地域観光にも貢献される経営と地域への思いについて、取締役会長 田原善裕さんにお話を伺いました。

■ お客様の笑顔で農業の魅力を高めたい

◆ 6次産業化に取り組んでこられた経緯についてお聞かせください。

早くに父が亡くなり、兄も亡くして農家を継ぐことになり、24歳で専業農家となりました。朽木は近江牛の産地でしたが、農業の機械化が進み、農耕に使っていた牛が姿を消してきていたことに危機を感じ、黒毛和牛の繁殖を始めたのが宝牧場の始まりです。この50年、頭数を増やし、乳牛を導入して酪農経営と加工販売を始め、牧場直営レストランを開店してきました。

牧場の仕事は決して楽なものではありません。牛は出荷まで約2～3年育てます。日々、牛と向き合い、育て、出荷したら全て「近江牛」という名で販売されていく。「これはおいしい」「これでいいのか」と感じていました。宝牧場の牛なのだと思ってもらい、直接、おいしい生産物を購入していただきたいと、加工と販売を始めました。消費者との直結によって、お客様の笑顔が見えるようになりました。私たち飼育や生産にかかわる一人ひとりにとって、その笑顔が満足感とやりがいにつながり、農業の魅力を感じています。昨今では、食品の安全安心を求める時代となり、多くの消費者が牧場を訪れてくださいます。

■ 農業は地域の魅力を高め、地域の活力になる

◆ 地域との連携を意識して経営されているそうですね。

畜産の作業は機械化で楽になり、チームワークを重視した、効率的な仕事になっていますが、家畜への興味関心が高くないと続かない仕事です。事業者として意識していることは、農業の魅力を高め、安定した雇用をつくる事です。雇用は地域の購買力を上げ、地域の活力になります。また高島の寒暖差と清らかな水は農業にとって宝です。地域の飼料米やわらを使い、耕畜連携により地域内の資源でコストを抑えた安心安全な畜産物を生産しています。

ぜひ、家庭において高島の魅力と宝を子どもたちに伝え、子どもたちの地域への愛着を育ててほしいと願っています。高島の地に誇りを持って生きる子ども達を育てていくことが地域の活力につながります。

宝牧場では40名以上の雇用があるそうです。大規模経営の原点は地域への愛情だと感じました。高島の気候風土を活かし、時代の変化に対応した事業の継続を目指しております。

朽木 宝牧場

〒520-1414 滋賀県高島市朽木宮前坊842
TEL:0740-38-2729 FAX:0740-38-2766
E-mail: cow-2@cowcowfarm.com
ホームページ: http://www.cowcowfarm.com/

いろいろやっています！ in たかしま

ここでは、市内のNPO、特徴的な活動のまちづくり団体や自治会が、どのようなきっかけで地域の課題に気付き活動を始めたのか、また活動の輪を広げていったのか、など、活動を展開する上での喜びや課題、これからのビジョンなどを取材して紹介します。

子どもからお年寄りまでが

心弾ませる、「新竹取物語」

湖西夢ふるさとワイワイ倶楽部



【湖西夢ふるさとワイワイ倶楽部】は、平成11年4月、地域交流創出を目的に、産官民が地域資源の活用に向けてウォーキング型事業実施のため発足しました。現在は、エコツアーリズムと食育推進も目的として、登山道整備などの「環境保全活動」と、地域の特産品販売施設などをツアー行程に組み込み「地域活性化」を両輪に活動しています。

平成19年7月には、安曇川町川島区の竹林再生整備事業を通じて、子どもからお年寄りまでが様々な出会いや自然の恵みを体験するエコツアー「新竹取物語」を実施。その後、毎年、数百人を超える参加者が訪れ、平成25年度には646名もの人が参加しました。竹林整備によって不法投棄等もなくなり、山野草や昆虫、鳥などが戻り、美しい景観が戻ってきたほか、洪水氾濫防止など河川維持管理にも役立つというそうです。

平成26年度は全国区の賞を二つも受賞！

現在、代表を務める阿部和子さんは、地域課題やニーズに合わせたプログラムづくり、人材育成も含めた事業のマネージメントを実施。市内の宿泊施設や観光協会とも連携した教育旅行や企業研修も受け入れ、そのガイド料・体験料を環境整備費などの経費としているそうです。



平成26年度には、(公財)日本自然保護協会主催の「日本自然保護大賞(地域の活力部門)」や国土交通大臣表彰の「手づくり郷土賞(一般部門)」を受賞。「地域を大切に想うメンバーが、冬の川に入って市内の竹林整備を行っているなんてほとんどの人は知らないが、こうした活動が評価されることは皆のモチベーションにつながる」と話す阿部さんの想いが、活動の大きな推進力なのだと感じました。

湖西夢ふるさとワイワイ倶楽部

(高島市安曇川町青柳999-2)

- 会員数 / 22名
- 設立 / 平成11年(1999年)
- 代表 / 阿部 和子

連絡先

電話 090-4687-7589
FAX 0740-32-0206

朗読技術の向上、

地道な練習と実践の積み重ね

音訳サークルかけはし



平成15年、16年に今津図書館で行われた「音訳ボランティア講習会」の受講生が、学んだことを活かそうと、平成16年4月に「音訳サークルかけはし」を立ち上げました。毎月第1、第3火曜日の13時半から16時まで、今津図書館で勉強会を実施。わからない専門用語の意味やアクセントは辞書等で調べ、一字一句の発音や間の置き方、心の込め方などについて意見交換しながら、音訳のクオリティを高めています。活動当初より「広報たかしま」や「市議会だより」をテーマ(現在はCDも)へ録音する活動を続けています。

平成17年からは月1回市内の救護施設で、平成25年から視覚障がいの方のご自宅での朗読を行っています。毎月第2金曜日には一般の人を対象とした朗読会を、年に1回、サークルの活動成果を発表する朗読会を今津図書館で開催し、朗読劇などにもチャレンジしています。

活動は今年で11年目。

仲間を増やしていきたい。

対面朗読では、聞き手からリクエストのあった本などを読む機会が多く、普段読まない書物を読むことも嬉しいし、聞き手との交流自体も楽しいとのこと。また朗読を熱心に聴いてくれる方の様子やこの活動を通してできた横のつながりが励みになります。



「音訳」と「朗読」は基本的に同じですが、「音訳」は変に抑揚をつけず【話すように読む】を意識されており、正確にわかりやすく読むその技術が「朗読」にも活かされています。

活動で感じる課題は「一部の人にしか、朗読を聞いてもらえない」こと。一般向けの朗読会を含め、たくさんの方に聴いていただきたい活動です。仲間も募集されていますので、関心のある方は今津図書館までお問い合わせください！

音訳サークルかけはし

(高島市今津町舟橋二丁目3-1 今津図書館)

- 会員数 / 12名
- 設立 / 平成16年(2004年)
- 代表 / 森田 敏

連絡先

電話 0740-22-3827 (今津図書館)

地域独自の困りごとを

住民同士の助け合いで解決したい

ボランティアチーム針畑

高島市朽木西部に位置する生杉集落(おひざせ)を中心に、高齢者等の送迎サービスを行っている【ボランティアチーム針畑】にお話を伺いました。平成20年4月に設立され、立ち上げ当初から現在に至るまで、周辺地域に住む8名前後の方々が、このサービスを利用しておられます。

メンバーは主にこの地域へ移住してきた11人。代表の駒崎佳之さんも、13年前に京都からこの地へ移ってきました。活動のきっかけは、地域の方々と話をしていて「この地域独自の困りごと」でした。



その一つは、毎週水曜日に開く診療所への有償福祉バスでの送迎が「使いたいときに使えない」というものでした。これを住民同士の助け合いで解決しようと考えたのが、「お助け福祉送迎サービス」(通称「おたふく」)でした。もともと集落ごとに普通にあつた助け合いの活動も、過疎が進み機能しなくなっていたようです。

平成27年3月、組織の解消と活動の継続

この地域では救急で病院に行きたいとき、救急車が来るのに30分、高島病院まで50分程かかりますが、途中まで患者を送る「おたふく」サービスで大幅な時間短縮が期待できます。他にも郵便局や大津の病院等へも、依頼があれば送迎を行っているそうです。

「住民同士の気兼ねない交流がしたい」という目的が達成されたこともあり、今年の3月に組織としては解消されましたが、活動は今も継続されています。「おばさんから漬物がもらえるようになったうれしい」と親しいお付き合いを喜ぶメンバーの多くは、福祉推進委員会のサロン活動なども活発に行っており、「この交流を継続することが大事」だとおっしゃっていました。



【2011年5月9日(月) 京都新聞掲載 (3月10日撮影)】 京都新聞社提供

ボランティアチーム針畑

※2015年3月に組織は解消 (高島市朽木小入谷502-1-3)

- 会員数 / 11名
- 設立 / 平成20年(2008年)
- 代表 / 駒崎 佳之

連絡先

携帯 090-8821-6055